2026年11月18日

各　位

会 社 名　株式会社パシフィックネット
代表者名　代表取締役社長　上田　雄太
（コード番号3021　東証スタンダード）
問合せ先　取締役　　杉　研也
（電話番号　03－5730－1442）

2027年５月期 第１四半期決算 質疑応答集

本質疑応答集は、2026年10月15日（木）の2027年５月期 第１四半期決算発表以降、機関投資家との面談や個人投資家からいただいたご質問を取りまとめたものです。内容の分かりやすさを考慮し、一部表現の修正および加筆を行っております。

業績と見通し

Ｑ１．第１四半期の営業利益の進捗率は13.2%にとどまっているが、通期業績予想を据え置いた理由は何か。また、第４四半期に業績が偏重する傾向があるのはなぜか。

Ａ１．当第１四半期は、前年同期の大口案件の反動やコスト増加などにより減益となりましたが、長期レンタルの受注拡大によるストック収益は着実に積み上がっております。

また、当社の業績には一定の季節性があり、例年第４四半期（３～５月）に業績寄与が相対的に大きくなる傾向があります。具体的には、３月は多くの企業の年度末にあたり、ＩＴ機器の導入・入替や予算消化に伴う需要が高まるほか、４月には新入社員研修等に伴うＰＣの短期レンタル需要が増加します。さらに、ＩＴＡＤ事業における使用済みＩＴ機器の回収・再販需要や、コミュニケーション・デバイス事業における旅行・観光需要もこの時期に高まり、業績に寄与します。

通期業績予想については、足元の受注状況、ストック収益の積み上がり、各事業の見通しに加え、ＩＴサブスクリプション事業の収益性改善への取り組みなどを総合的に勘案し、現時点では据え置いております。

ＩＴサブスクリプション事業

Ｑ２．受注額が前年同期比44.6%増加しているが、売上・利益にはどのように反映されるのか。

Ａ２．当社が公表している受注額は、長期レンタルだけでなく、短期レンタル、ＩＴサービス、販売等を含むＩＴサブスクリプション事業全体の受注額であり、契約期間全体の金額を集計したものです。

長期レンタルでは、受注後、機器の調達やキッティング・出荷等を経て利用が開始され、契約期間にわたって売上が計上されます。そのため、受注額の増加が直ちに当期の売上・利益に反映されるものではありません。

また、受注額は契約台数だけでなく、契約期間や契約単価等によっても変動します。利益への貢献についても、案件ごとの採算性や資産の稼働状況等によって異なります。

当第１四半期は、ＰＣ貸出台数が前年同期比10.4%増、長期サブスクリプション売上が同18.6%増となっており、ストック収益基盤の拡大が着実に進んでおります。今後は、受注拡大に加えて、案件ごとの採算性や資産効率を高めることで、売上・利益の成長につなげてまいります。

Ｑ３．ＩＴサブスクリプション事業は、長期レンタルの売上が拡大しているにもかかわらず、セグメント利益が大幅に減少している。利益率低下の要因と今後の改善策は何か。

Ａ３．当第１四半期は、長期サブスクリプション売上が前年同期比18.6%増加した一方、前年同期の大口短期レンタル・ＩＴサービス案件の反動や、ＰＣ調達価格の上昇に伴う減価償却費の増加、事業拡大に向けた人員・体制強化などにより、セグメント利益が減少しました。

また、ＰＣ調達価格の急激な上昇に対し、価格転嫁が十分に進んでいないことも、利益率低下の要因となっております。今後は、新規・更新案件における採算性の改善や、ＩＴサービスの付帯率向上に取り組んでまいります。

加えて、保有資産については、従来の台数ベースの稼働管理に加え、取得金額ベースでの稼働状況や収益性も把握し、未稼働資産の早期稼働・再稼働を進めてまいります。さらに、新規資産の取得にあたっては、稼働計画や投資回収の見通しを踏まえた調達判断を徹底し、資産効率と収益性の向上を図ってまいります。

Ｑ４．ＩＴサブスクリプション事業における競争環境の変化とは、具体的にどのようなものか。

Ａ４．ＰＣの調達価格が短期間で大幅に上昇するなか、お客様のコスト意識も高まっており、複数社から見積もりを取得するなど、価格やサービス内容を比較検討する動きが強まっています。

こうした競争環境の変化に対応するため、当社では、機器の貸し出しにとどまらず、調達・導入・運用・管理までを一貫して支援するＬＣＭサービスの付加価値を高めるとともに、案件ごとの採算性を重視した受注活動を進めております。

Ｑ５．ＰＣ調達価格の上昇をレンタル料金に転嫁できているのか。

Ａ５．ＰＣ調達価格の上昇に対しては、新規契約や契約更新の際に、調達コストや案件ごとの採算性を踏まえ、適正な価格設定を進めております。

一方、競争環境やお客様の価格面でのご要望などにより、調達コスト上昇分の価格転嫁には一部遅れが生じております。

このため、新規・更新案件の採算基準の明確化や契約期間別の収益性の検証を進め、案件ごとの採算性を重視した価格・契約条件の適正化に取り組んでおります。なお、既存契約については契約時に定めた条件に基づいてサービスを提供しており、価格転嫁の具体的な割合や反映までの期間については開示しておりません。

ＩＴＡＤ事業

Ｑ６．ＩＴＡＤ事業は入荷台数が減少しているにもかかわらず増収増益となったが、その要因は何か。

Ａ６．当第１四半期のＩＴＡＤ事業は、入荷台数やデータ消去等のサービス売上が前年同期を下回った一方、売上高は前年同期比15.6%増、セグメント利益は同3.1%増となりました。主な要因は、中古ＰＣ相場が堅調に推移するなか、高年式・高スペック品など再販価値の高い機器の構成比上昇

や、販売チャネルの強化などにより、販売単価が上昇したことです。
　当社では、入荷台数だけでなく、販売単価や商品構成、在庫回転なども重視して事業運営を行っております。今後も、再販価値の高い機器の確保や販売力の強化に加え、データ消去・排出管理等のサービス収益の拡大に取り組んでまいります。

市場環境

Ｑ７．サイバーセキュリティへの関心が高まっているが、当社事業への影響はあるか。

Ａ７．企業におけるサイバーセキュリティ対策や情報漏えい防止への関心の高まりは、当社事業にとっても重要な事業環境の変化と認識しております。当社はサイバー攻撃対策そのものを主力事業としているわけではありませんが、ＩＴ機器の調達・運用・管理から、使用済み機器の回収・データ消去・適正処理まで、一連のサービスを提供しております。特にＩＴＡＤ事業においては、情報漏えい防止や適切なデータ消去に対する企業の意識が高まることで、当社サービスへの需要につながる可能性があると考えております。現時点で、こうした動きによる具体的な業績への影響を定量的に示せる状況ではありませんが、引き続き安全性と信頼性の高いサービスを提供し、お客様のＩＴ資産管理を支援してまいります。

財務・キャッシュフロー

Ｑ８．借入金が増加しているが、今後の金利上昇による業績への影響をどのように考えているか。

Ａ８．当社では、ＩＴサブスクリプション事業の拡大に伴い、サブスクリプション資産の取得を目的とした借入金が増加しております。
　これまで固定金利を中心とした資金調達を行ってきたため、既存の固定金利借入については市場金利上昇の直接的な影響は限定的ですが、変動金利による借入や今後の新規調達等については、金利上昇に伴い支払利息が増加する可能性があります。
　当社では、金利変動リスクへの対応に加え、借入金を活用して取得する資産の収益性や投資効率を重視しております。案件ごとの採算管理や保有資産の早期稼働、資産管理の強化を進めるとともに、資金調達と投資回収のバランスを考慮した財務運営に取り組んでまいります。
　今後も金利動向を注視しながら、成長投資と財務健全性の両立を図り、資本効率の向上に努めてまいります。

【ご参考資料】

■2027年５月期 第１四半期決算説明資料
https://www.prins.co.jp/_file/ja/article/5761/pcn_ir_file/2/

■2027年５月期 第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）
https://www.prins.co.jp/_file/ja/article/5760/pcn_ir_file/2/

■【2027年５月期 第１四半期】決算情報のポイント
メディアプラットフォーム「note」にて公開しております。
https://note.com/pacificnet_3021/n/nd3f994470c42

■2027年５月期 第１四半期 決算説明動画および書き起こし記事公開

決算説明動画

https://youtu.be/uajy18F7VRQ

決算説明動画 書き起こし記事

https://note.com/pacificnet_3021/n/n26b81879ea4e

【免責事項】

・本資料は、当社の事業に対する理解を深めていただくための情報提供を目的としており、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

・本資料に含まれる将来の業績見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、当社として将来の業績を保証するものではありません。業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パシフィックネット IR 担当：ir@prins.co.jp

以下、お問い合わせフォームもご利用ください。

IR お問い合わせ ｜ トップページ

以上